

風しんにご注意ください！

関東を中心に、風しんが流行しています。妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなどの「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんは10代後半から50代前半の男性が特に多く発病しています。

昭和54年4月2日から平成7年4月1日生まれの方は男女ともに予防接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に予防接種をする機会がありませんでした。

風しんの予防接種を ご検討ください。

女性は妊娠前に！

予防接種の接種後2か月は避妊が必要です。
接種回数は子どもの頃の接種を含めて2回です。

成人男性

- ◆風しんにかかったことのない方
- ◆風しんワクチンを受けていない方
- ◆どちらも不明な方

2回接種しても問題はありません。

妊娠中の女性の家族の方

妊娠中は風しんの予防接種を受けることができません。
周りの方もしっかり予防していきましょう。

妊娠中は風しんの
予防接種ができません！



- ◆留寿都診療所でも、風しんの抗体検査・予防接種をすることができます。（どちらも有料です。）
留寿都診療所または、役場保健医療課までご相談ください。

問い合わせ先

役場 保健医療課 ☎46-3131

留寿都診療所 ☎46-3774